

中国象棋とチェスの起源に関する研究

高見友幸（大阪電気通信大学 総合情報学部 デジタルゲーム学科）

研究概要

本研究の目的は、日本将棋の起源の問題と連携させて、中国象棋とチェスの起源の問題を究明することである。世界の将棋類の起源として、古代インドのチャランガがその候補とされているものの、明確な根拠が提示されているわけではない。

我々の将棋史研究からは、摩訶大将棋が起源の将棋であり、摩訶大将棋から駒数が順次31枚ずつ減って、大将棋、平安大将棋と将棋が変遷することがわかっており[1]、変遷過程における設計規則も明らかにされている。この設計規則によれば、変遷過程の最後に位置する平安大将棋は、図1に示されるように、最終的に中国象棋とチェスに分割される[2]。

仮説は単純かつ形式的であるものの、得られる結果は非常に明解である。摩訶大将棋50種96枚の駒が順次取り除かれ、最後に中国象棋とチェスの駒だけが残るのである。ここで平安大将棋のすべての駒は余すことなく使われる。最後に2駒、仲人と横行の駒が余ったかに見えるが、実は、この2駒、ともに初期配置にはないが成駒として利用されている。

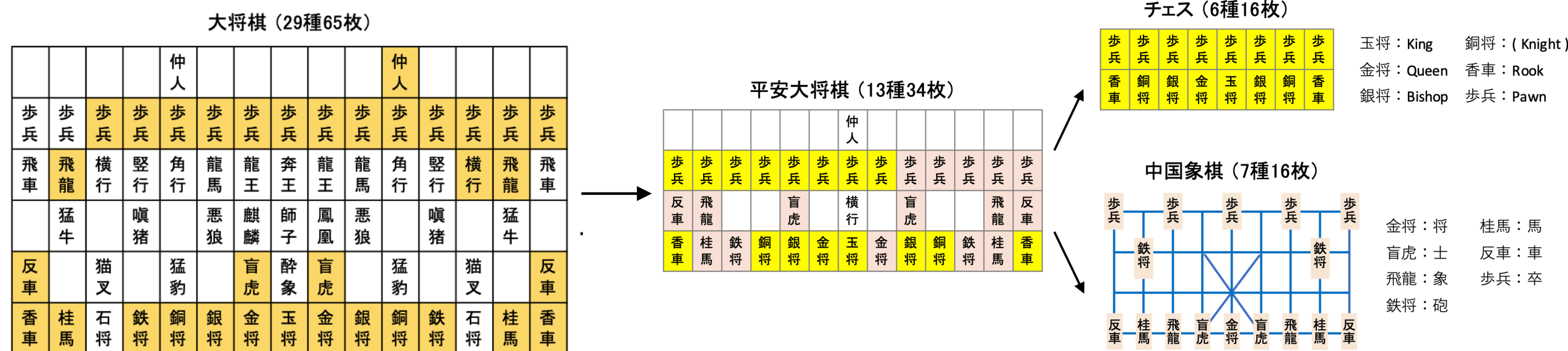
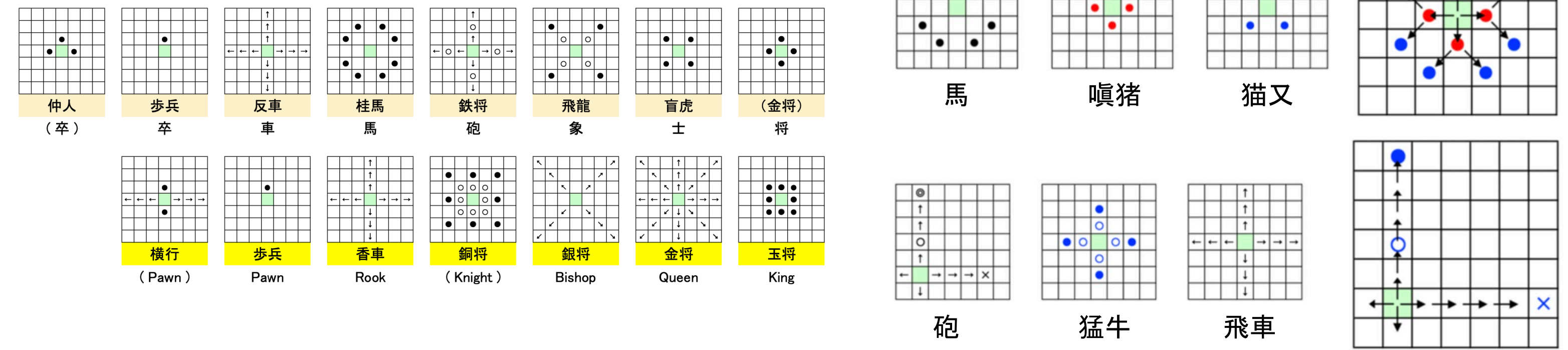


図1. 大型将棋の発展過程。
平安大将棋の34枚の駒は2分割され、各16枚の中国象棋とチェスが成立したと考える。13枚の歩兵は、中国象棋に5枚、チェスに8枚に分かれる。仲人と横行の2枚は成駒として使用される。
-31等の数字は駒数の減少を示す。



駒の動きを決める規則X

大型将棋の発展過程には一定の規則がある。この規則(規則Xと呼ぶ)の概要は以下のとおりである。

- 1) 進化の際に名前が消えた駒は、名前が消える代わりとして、駒の動きが残される。
- 2) 名前が残った駒は、もともとの駒の動きがなくなる。

規則Xに基づけば、平安大将棋の駒の動きは、平安大将棋で消えた駒から推測することができる。たとえば、角行は大将棋の駒であるが、その動きは銀将に引き継がれ、平安大将棋に残された。奔王の動きは金将が、飛車の動きは香車が、猫又と噴猪の動きは融合し、桂馬が八方桂として動くのである。

チェスのポーンは敵駒を取るときのみ斜め前方に動いてよい。中国象棋の兵は河を超えると横にも動くことができる。八方桂の動きをする中国象棋の馬は、前後左右に駒があれば動けない。こうした動きがゲームクリエイターの発案だったとすれば、その動きの理由を問うのは無意味であろう。しかし、これらの特殊なルールは、規則Xにより論理的に導くことができる。

波及する研究の成果

大型将棋史から波及した研究成果として、摩訶大将棋の将棋盤は初期平安京の条坊だったとする仮説がある。この仮説は、その後、唐長安城の正方形仮説へと発展した[3]。

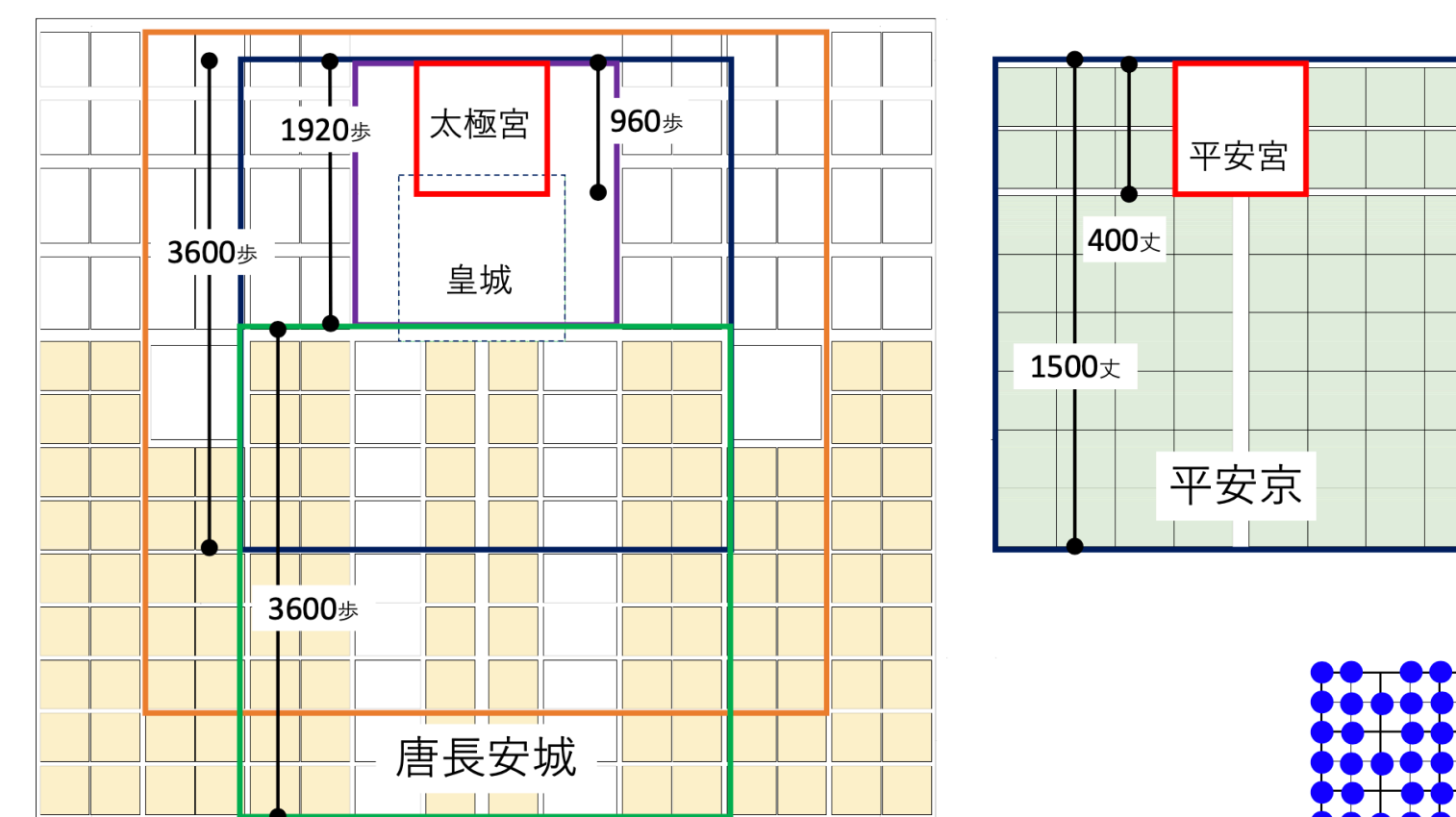
平安京や藤原京は、碁盤目状の唐長安城を模した都とされてきたのであるが、実は、寸法までを含めて厳密に模写されたようである。このような徹底的な模写は、都城の思想への深い信奉に基づくものであると同時に、数値に対する信奉があったのではないかと考えられる。そこには、呪術的数値(360、96、等々)に対する深い信奉があったものと思われる。

唐長安城・宮城の一辺960歩の正方形が、初期平安宮の一辺400丈(=960歩)の正方形となった。3600歩と360歩の正方形は唐長安城にも藤原京にも平安京にも現れる。960、360、96といった数値は呪術的に、つまり、理屈抜きに信奉され、それが、古代日中の様々なシーンに出現する。たとえば、960、360、96の数値は、藤原京の時代に編纂が開始された日本書紀の紀年の構造の中にも組み込まれている[4][5]。

参考文献

- [1] 高見友幸, 「摩訶大将棋起源説反駁」に対する返答, 大阪商業大学アミューズメント産業研究所紀要, 第23号, 2021.
- [2] 高見友幸, 摩訶大将棋起源説と初期平安京の復原 ~中国象棋とチェスの起源~, 考古学ジャーナル2021年11月号, 40-50, 2021.
- [3] 高見友幸, 唐長安城の数理モデル ~唐長安城の正方形仮説補遺~, 考古学ジャーナル, 2023年3月号, 34-40, 2023.
- [4] 高見友幸, 古代大王家の系譜に関する仮説, 日本国史学第19号, 83-104, 2023.
- [5] 高見友幸, 日本書紀の紀年問題に関する考察, 日本国史学第20号, 2023. (投稿中)

唐長安城と初期平安京



日本書紀の紀年に現れる呪術的数値の例

天智天皇即位(661年)の360年前に崇神天皇即位(301年)
崇神天皇即位(301年)の960年前に神武天皇即位(BC.660年)
天武天皇即位(673年)の360年前に仁徳天皇即位(313年)
崇神天皇即位(301年)の96年後に仁徳天皇即位(397年)

摩訶大将棋の将棋盤と平安京の条坊

